

2019年10月31日

各 位

会 社 名 リーダー電子株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長尾 行造
 (JASDAQ・コード6867)
 問合せ先
 役職・氏名 総務部長 梶川 元靖
 電 話 045-541-2121

2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と 実績との差異に関するお知らせ

2019年7月31日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異

(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,660	80	80	50	14.09
実 績 値 (B)	1,541	119	117	98	27.73
増 減 額 (B-A)	△118	39	37	48	—
増 減 率 (%)	△7.1	49.7	46.9	97.1	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	1,345	39	47	19	5.39

2. 差異が生じた理由

2020年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、北米・中南米での販売がやや停滞したものの、国内及び中国、欧州において4K映像フォーマット対応関連機器の販売が好調に推移いたしました。さらに東南アジアなどにおいてフルハイビジョン(2K)放送への移行に伴う放送関連機器の販売が好調に推移いたしました。このような状況において、第2四半期の海外需要が好調に推移したことにより、当社から海外連結子会社への出荷比率が予想より高くなりました。

この出荷における海外連結子会社の売上は、子会社の決算期が12月であることから、当第2四半期においては反映されず、第3四半期以降に反映されることとなり、当初の予想より売上は減少いたしました。

なお、第3四半期以降の海外連結子会社における販売は順調に推移しております。

利益につきましては、Phabrix Limited の買収に係った費用が計上されることにより利益が減少する見込みでしたが、利益率の高い製品の販売比率が向上したことにより、増益となりました。

なお、2019年7月31日に公表いたしました2020年3月期(通期)の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上